

「第6期子ども大学はにゅう」を開催して

牛 込 彰 彦
(こども学科 教授)

平成28年度、「羽生市学びあい夢プロジェクト」の一環として実施した「子ども大学はにゅう」について、その概要を報告する。

1. 趣旨

「羽生市学びあい夢プロジェクト」の一環として、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供することにより子どもたちの健全育成を図るため、関係機関が連携し、子ども大学はにゅうを開催する。

2. 主催及び関係協力諸機関等

主 催：子ども大学はにゅう実行委員会

協力組織：(学) 埼玉純真短期大学・羽生市教育委員会

(一社) 羽生青年会議所・羽生市青少年相談員協議会

羽生ロータリークラブ・(株) アロハガス

(有) シガ工芸

3. 実施方法

(1) 募集対象および人数

小学校4年生から6年生・28名

(2) 募集方法：

市広報で周知するほか、小学校を通じ対象学年全員に募集案内を配布

(3) 申込方法：

子ども大学はにゅう参加申込書に必要事項を記入の上、羽生市教育委員会生涯学習課へ提出（郵送・FAX可）。定員を超えた場合は抽選。

(4) 参加費：

1,000円（材料費・保険料）

(5) その他：

子どもの送迎については、市内会場に限り保護者が責任を持って行う。

各回とも保護者の見学参加を可とする。

4. 学習プログラム

第1日 9月10日（土） 場所：埼玉純真短期大学

・入学式 学 長：藤田 利久（埼玉純真短期大学学長）

副学長：秋元 文子（羽生市教育委員会教育長）

実行委員長：伊藤 道雄（埼玉純真短期大学教授）

講義Ⅰ：「身体を使った遊びの達人になろう」

安倍 大輔（埼玉純真短期大学准教授）

講義Ⅱ：「宇宙から眺める地球はどんなだろう」

久保田 郁夫（埼玉県立羽生第一高等学校）

第2日 10月22日（土） 場所：埼玉純真短期大学

講義Ⅲ：「角帽を作ろう」

羽生市青少年相談員協議会の皆様

講義Ⅳ：「空に向かって飛行機を飛ばそう」

持田 京子（埼玉純真短期大学講師）

金子 智昭（埼玉純真短期大学非常勤講師）

講義Ⅴ：「ムジナモンでグルグル ヘキサ・フレキサゴンを作ろう」

齋藤 史夫（埼玉純真短期大学非常勤講師）

第3日 11月5日（土） 場所：株式会社東亜酒造

講義Ⅵ：「はにゅうの産業と歴史を知ろう③」

株式会社東亜酒造の皆様

第4日 12月10日（土） 場所：埼玉純真短期大学

講義Ⅶ：「コンピュータを使って、僕だけ私だけの下敷きを作ろう」

小松 和弘（埼玉純真短期大学非常勤講師）

講義Ⅷ：「学習のまとめ」

牛込 彰彦（埼玉純真短期大学教授）

・修了式 学 長：藤田 利久（埼玉純真短期大学学長）

副学長：秋山 文子（羽生市教育委員会教育長）

実行委員長：伊藤 道雄（埼玉純真短期大学教授）

5. 成果

昨年度に引き続き地元ロータリークラブの協力を得、「ふるさと学」の一つとして「東亜酒造」の見学を実施することができた。子ども大学の学生として参加した小学生は、初めて見る酒蔵に興味津々で、その歴史や製造工程にも目を輝かせて学習に取り組んでいた。また、甘酒のつくり方や効果なども教えていただき、また、最後には、冷やし甘酒の試飲もさせていただき貴重な経験を得ることができた。また、その他の講義では外部講師を招聘したりするなど、多彩なプログラムを用意することができた。

今年度から、「サポーター」制度を導入した。サポーター制度とは、以前に子ども大学を受講した学生が、実施される子ども大学の運営の手伝いをするという制度である。手伝いの内容は、子どもたちの誘導などの運営から子どもたちへの学習支援に至るまで多岐にわたっている。今年度は、中学生のサポーターが7名参加し子ども大学学生への支援を行った。現在少子化等が進行し異年齢での接触が望まれる中、子ども大学として、小学校4年生から中学生までの幅広い異年齢交流が実施できたことの意義は大きいと感じる。実際に小学生は支援していただく喜び、また中学生は支援する喜びを感じそれぞれに成長していた。このように子ども大学において新たな取組をすることは、子ども大学の発展の契機となるとともに、多くの子どもたちに対する教育資源の還元につながると思う。今後とも枠にとらわれず、子どもたちの成長に資するような取り組みに対しては、臆することなく、積極的に取り組んでいきたい。

参加した子ども及び保護者の感想（抜粋）

こども

- * 「身体を使った遊びの達人になろう」では、いろんな人とふれあいながら遊べたのでとても楽しかったです。
- * 「宇宙から眺める地球はどんなだろう」では、地球のクラフト工作があっってちょっと難しかったけど、とても楽しかったです。
- * 「空に向かって飛行機を飛ばそう！」では、自分でつくった飛行機で外に出て、飛行機を飛ばして楽しかったです。
- * 「ムジナモンでグルグル ヘキサ・フレキサゴンを作ろう」では、じゃばらぎりで正六角形ができることを初めて知りました。学校でも友達と作りたいと思います。とても楽しかったです。
- * 東亜酒造の工場見学では、お酒のつくり方などが知れました。甘酒のつくり方も、教えてもらったので、家でも作ってみたいです。
- * お酒をいれるボトルが1600本もあるのに約9分ですべてのボトルにお酒を入れられるなんてすごい

と思いました。

- * 今年まで、4、5、6年生とずっと子ども大学へ行き、今年で最後だったので、少し悲しかったけど、とてもたのしくかつどうできてよかったです。
- * 子ども大学で友達ができました。いろいろなこともしれました。たのしかったです。また、6年生になったらさんかしたいと思います。

保護者

- * 他の学校のおともだちとの交流もでき、学校の授業とは違う学びができるのは、とても良いことだと思います。これからの学習に役立つことがたくさん得られたと思います。
- * 姉が第1回から参加させていただいて、とてもよかったです。弟にも経験させたいと思いました。ありがとうございました。
- * お姉さん達がやさしくて、ここの大学に行きたい！と家で話していました。とても楽しかったようです。ありがとうございます。
- * 違う学校の友達もでき、楽しく参加させていただきました。東亜酒造での見学では、全身白衣で、食品をあつかう工場での衛生面での厳しさ等を知り、機械のスゴさにびっくりしてしまいました。また、機会がありましたら、色々な経験をさせたいと思いました。お世話になりました。